

あくまでイメージとして作成したものです

小山市立生涯学習センター事業実施計画（試案）

この事業実施計画は、懇話会、市民フォーラム、市民アンケート等の市民の皆様や有識者の皆様からのご助言をいただきながら、作り上げたいと考えたものです。また、運営形態を考えるうえでも、より具体的な事業内容をお示ししたうえで、具体的にイメージをしていただきたいという思いで作成し始めた案であり、決定事項ではございません。

ぜひこんなことがやれたら良い、やりたい、というものがありましたら、ぜひ前向きなご助言・ご提案いただき、皆様と創り上げていきたいと考えております。

もしこの事業実施計画をもとに、令和5年度の事業を進めることが可能となった場合は、令和4年10月に提出する予算要求のための資料づくり、令和4年度下半期からの詳細の企画・講師調整などの準備作業に入っております。

I. 事業運営方針

原則として「第3次小山市生涯学習推進計画」（以下、推進計画）及び「小山市立生涯学習センターの在り方に関する基本理念」（以下、基本理念）を前提とし、小山市立生涯学習センター（以下、生涯学習センター）が、「対話」の価値を発見できる場としての役割を担い、小山市の生涯学習を推進するための中心機関となって、広く市民に関わる地域課題に関する学びを親しみやすく提供すること（主体的な参加のためのきっかけづくり）や、深い学びのために多様な主体をつないでいくことを実現できる事業を展開します。

【生涯学習センターに求められる特有の機能】

「基本理念」にて整理・確認した、生涯学習センターに求められる機能を発揮するべく事業を実施します。

- | | |
|------------------|---|
| <p>計画</p> | <p>(1) 調査：<u>先進的な施策・事業の調査、及び地域の課題・地域の学習ニーズの把握</u></p> <p>(2) 研究：<u>広域的な視点に立った政策誘導的な事業の研究、及び事業計画の企画立案</u></p> |
| <p>実践</p> | <p>(3) 上記(1)(2)により立案された事業の実施・実践</p> <p>(4) 連携：<u>多様な人・機関とのつながりづくり</u></p> <p>(5) 研修：<u>ネットワーク型行政の実現に向けた小山市役所職員をはじめとする人材の育成と実践の場</u></p> |

【推進計画及び基本理念に基づく重点目標】

「基本理念」で挙げた4つの「重点目標」を達成するべく事業を実施します。

- | | |
|-------|--------------------------|
| 重点目標1 | 生涯学習関連施設の機能の充実 |
| 重点目標2 | 市民と行政のパートナーシップの推進 |
| 重点目標3 | 学びを活かす取組の推進 |
| 重点目標4 | 人と人、人とまちをつなぐコーディネート機能の充実 |

また、市内生涯学習関連施設（公民館、市民交流センター、市民活動センター等）との連携を図り、特に生涯学習団体やサークル活動の充実に向けた支援体制を整えます（学習、相談、交流の機会の創出）。

各団体が取り組む「事業」「業務」に対するサポートについては、市民活動センターとの連携や情報共有により役割分担を図り、生涯学習センターは学びの面での支援を行います。

併せて、生涯学習センターが市民に寄り添った学びの場となっていくため、事業内容に関して市民とともに考える仕組みづくり（運営委員会の実施）や、生涯学習センターの運営や企画そのものを市民とともに担っていく仕組みづくり（協働の研究）を進めます。

Ⅱ. 安全面に関する方策

不特定多数の利用者が利用する施設のため、安全対策については、「施設」「催事」「日常業務」の場面に分けて多面的に図ります。事故防止マニュアルを作成し、毎日の業務の中でヒヤットしたことをヒヤリハットに記録し、職員間で共有する仕組みを整えます。

事故が起きた時には人命を優先し対応し、速やかに事故報告書を作成し報告します。

●施設設備・備品の安全について

日常点検と定期（保守）点検とを実施し、施設管理の責任者を職員内に1名以上配置します。

●催事における安全について

企画段階から潜在的な危険を低減させ、万が一の突発的な事故対応をマニュアル化します。

●清潔さの維持について

日常清掃と定期清掃とを実施し、清潔に利用しやすい環境を整えるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を実施します。

Ⅲ. 運営体制・職員配置について

1 職員配置

館長（再任用）（正責任者）	常勤1名
正職員（副責任者）	常勤1名
正職員	常勤4名
任期付職員	常勤2名
会計年度任用職員	常勤4名

- 正・副責任者のうち1名を防火管理者および施設管理担当とします。
- 正責任者の職務上の呼称は「館長」の呼称とします。
- 正職員には社会教育主事や社会教育士（有資格者を含む）を配置します。

2 組織図

作成中

3 生涯学習センター職員の研修計画

- ・ 栃木県教育委員会主催の生涯学習関連の研修への参加
- ・ 社会教育主事講習への参加
- ・ 生涯学習センター職員研修（OJT）の定期開催

4 施設概要・事業体系について

(1) 施設概要

- 設立 平成6年6月
- 名称 小山市立生涯学習センター
- 所在地 小山市中央町3丁目7番1号 ロブレ（小山駅西再開発ビル）6階
- 建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階付8階建
(専有面積：1,832.15㎡)
専有面積には、若者サポートステーションセンターを含む
- 施設概要 事務室、ラウンジ、ホール、ギャラリー、セミナー室、和室
託児兼資料室
- 貸出施設

ホール	198.21㎡	(収容人数 150人)
ギャラリー	236.09㎡	
第1セミナー室	52.96㎡	(収容人数 30人)
第2セミナー室	43.19㎡	(収容人数 29人)
和室	38.25㎡	
託児兼資料室	18.03㎡	
- 付随施設 おやま未来開運塾
宇都宮大学サテライトプラザ

(2) 事業体系

・施設管理の実施

日常清掃、定期清掃、保守点検
貸館業務

・生涯学習事業の実施

主催事業の開催
調査・研究
研修
生涯学習関連施設との連携・支援

(3) 業務遂行の際に留意すべき4つの視点

事業立案・事業実施の際に、職員が念頭に置くべき、留意すべきこととして、「基本理念」で挙げた4つの視点を遵守します。

1 活性化

「市民の深い学びを支援する」、「仲間づくりを支援する」など、生き生きと学べる場を作れているか

2 好奇心・向上心

「背伸びしても良い、失敗しても良い、まずはやってみることで学びを得られるか」など、市民の好奇心・向上心を尊重しているか

3 安心・信頼

「互いを尊重する、互いに共感する、互いのプライバシーを守る」など、安心して学び交流できる環境が作れているか

4 貢献・共感

- ①実施する各事業が市民のニーズに応えることができているか
- ②市民に「他者の目線に立てているか」、「相手の心に寄り添っているか」などの観点を提供できているか

IV. 事業実施計画書

1 年間事業実施計画（歳時記）

（凡例）

●生涯学習課既存事業、◆生涯学習センター既存事業

◎生涯学習課既存事業を刷新・事業拡大した事業、☆新規事業

	単発事業	複数（シリーズ）事業
4月	◎新おやま市民大学H00K「小山市民になった方へ」	☆生涯学習センター職員研修（OJT）の定期開催（年4回） ☆運営委員会及び調査検証委員会の設置と会議の実施（開催回数未定） ◎講師指導者情報等データベース化作業開始（業務委託契約、講師連絡等） ◎公民館長・市民交流センター長会議（年3回） ●家庭教育（オピニオンリーダー）支援事業（通年） ●公民館運営審議会（通年）
5月		◎公民館職員研修（年2回5月・12月） ◎◆新おやま市民大学CLASSIC「ヨガ・ストレッチ」（全8回5月～12月）
6月		☆学びの種集め講座全2回（月1回6・7月） ◎新おやま市民大学H00K 第1テーマ「防災」全4回（6～9月） ※兼 公民館先行モデル事業
7月	◆コンサート事業（名称未定）	☆生涯学習オープンフォーラム（年2回7月・12月）協働へのきっかけ目指す ☆市民自主企画講座応募開始&応募オリエンテーション講座（1回）
8月	◎新おやま市民大学ACADEMIC「小山のまちの歴史（小山駅付近の歴史）」 ☆生涯学習グループ・サークル交流フォーラム	◎新おやま市民大学ACADEMIC「金融」全4回（月1回、8～12月）

資料3

9月		<p>☆市民自主企画講座選定・実施準備・予算措置の検討（企画者である市民とともに）</p> <p>※数回講座開催（R6年度）まで研修会実施</p>
10月	◆コンサート事業（名称未定）	<p>◎新おやま市民大学H00K 第2テーマ「おやまのマイスターとまちに出よう！」全4回（10～1月）</p> <p>●家庭教育（親学習プログラム）就学時健診時訪問提供事業</p>
11月	<p>◎新おやま市民大学ACADEMIC「まちづくり（市民主体の地域活性化）」</p> <p>※現役世代向け</p>	
12月	◆コンサート事業（名称未定）	
1月	◎新おやま市民大学ACADEMIC「渡良瀬遊水地（田園環境都市）」	
2月	☆生涯学習まつり	
3月	<p>◎新おやま市民大学CLASSIC「高校卒業後の心配事」</p> <p>※学生、若者向け、入試・卒業後に設定</p>	

2 事業実施計画（企画詳細）

小山市立生涯学習センター 事業実施計画書（令和5年度）（案）
（凡例）

- 生涯学習課既存事業、◆生涯学習センター既存事業
- ◎生涯学習課既存事業を刷新・事業拡大した事業、☆新規事業

【小山市の生涯学習の中心機関としての事業類】

- | | |
|------------------------------------|------|
| ◎ 1. 新おやま市民大学事業 ¹ | 9 事業 |
| ◆☆CLASSIC（クラシック） シリーズ ² | 2 事業 |
| ☆ HOOK（きっかけ） シリーズ ³ | 3 事業 |
| ◎ ACADEMIC（専門） シリーズ ⁴ | 4 事業 |
| ◎☆2. 公民館・市民交流センターへの支援充実事業 | 6 事業 |
| ◎ 3. 講師指導者情報・グループ・サークル情報のデータベース化 | 1 事業 |
| ◎ 4. 宇都宮大学サテライトプラザ事業 | 1 事業 |
| ● 5. 大学開放事業（白鷗大学市民開放講座） | 1 事業 |
| ◎☆6. 多様な学習方法、情報発信方法の展開 | 2 事業 |
| ● 7. まちづくり出前講座事業 | 1 事業 |

【市民と行政とのパートナーシップの推進事業類】

- | | |
|--|------|
| ☆ 8. おやまのマイスターとまちに出よう！（地域の専門家との連携）事業 | 1 事業 |
| ※1のHOOKシリーズと兼ねる | |
| ☆ 9. 運営委員会・調査検証委員会の設置 | 2 事業 |
| ☆10. 生涯学習センターの施設・事業運営を市民とともに担う
（協働の）仕組みづくりの研究事業 | 1 事業 |
| ☆11. 市民自主企画講座開催支援事業（※） | 2 事業 |
| ※12と兼ねる | |

¹ 既存のおやま市民大学を刷新、多様性に配慮した企画・実施を目指す。普段利用の少ない学生、現役世代、子育て世代、の市民が学びやすい、学びにアクセスしやすい対象・テーマ・時間の設定を工夫する。多くの学びの入口を確保する。

² 生涯学習分野における、これまでの自分を高める学び、仲間づくりのための学び（Classic）の視点を大切にした教養・健康講座の提供

³ 地域課題に対する親しみやすい、きっかけとなる学び（Hook）の提供

⁴ 高度な学習意欲に応える専門的な学び（Academic）の提供

【学びを活かす取組の推進事業類】

- ☆12. 市民自主企画講座開催支援事業（※）※11と兼ねる 2事業
- ☆13. 生涯学習センターまつり事業 1事業

【人と人、人とまちをつなぐコーディネート機能の充実事業類】

- ◎14. 社会教育主事、社会教育士、その他コーディネータの養成・配置 1事業
- ◎15. 学習相談体制の設置 1事業
- ☆16. グループ・サークル交流フォーラムの開催 1事業

【生涯学習センターホール活用事業】

- ◆17. コンサート・演劇等事業 3事業

【生涯学習課既存事業】

- 18. 各種審議会に関する事 2事業
- 19. 家庭教育支援事業 2事業
- 20. 学びの教室事業 1事業
- 21. 地域学校協働活動に関する事 1事業
- 22. 市民ギャラリー（まちかど美術館）に関する事 1事業
- 23. 視聴覚ライブラリー協議会に関する事 1事業
- 24. PTA連合会の指導・助言に関する事（小山市PTA連合会） 1事業
- 25. 中央公民館の指定管理に関する事 1事業
- 26. 女性教育に関する事 1事業
- 27. 二十歳を祝う会（旧 成人式）に関する事 3事業
- 28. 小山地区南北子ども会育成会に関する事 2事業
- 29. 将棋大会に関する事 1事業
- 30. 所属の庶務に関する事 1事業

【施設管理事業】

- ◆31. 貸館事業（予約管理・窓口・電話対応含む） 3事業
- ◆32. 清掃事業 2事業
- ◆33. 保守点検事業 事業

(凡例) ●生涯学習課既存事業、◆生涯学習センター既存事業

◎生涯学習課既存事業を刷新・事業拡大した事業、☆新規事業

【小山市の生涯学習の中心機関としての事業類】

1. 新おやま市民大学事業 ◎		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①新おやま市民大学CLASSICシリーズ「ヨガ・ストレッチ」◆	生涯学習センターに仲間たちと集い、心身を健やかに保つための講座。R4年度までの既存事業「ヨガ・ストレッチ」の継続。	全8回 (5～12月)
②新おやま市民大学HOOKシリーズ(1)「小山市民になった方へ」☆	地域ごとを自分ごととして考えるきっかけ(Hook)を提供する事業のひとつ。 R4,5/21開催の市民フォーラムで学びたいテーマとして挙げられた「これからの新生活のための学び&小山市の特色に合わせた学び」。	全1回 (4月下旬)
③新おやま市民大学HOOKシリーズ(2)「防災」◎☆	地域ごとを自分ごととして考えるきっかけ(Hook)を提供する事業のひとつ。 「防災」というどんな市民にも関わるテーマについて、親しみやすい内容を提供する。受講対象やテーマ設定を工夫する。 ※公民館先行モデル事業	全4回 (6～9月)
④新おやま市民大学HOOKシリーズ(3)「おやまのマイスターとまちに出よう！」☆	地域ごとを自分ごととして考えるきっかけ(Hook)を提供する事業のひとつ。小山市の魅力アップ、活性化に取り組む地元の専門家に協力を依頼し、親しみやすい(美味しい・楽しい・おしゃれな等)講座を開催し、楽しい体験と学びを提供するとともに、中心市街地活性化の市民の方々の取り組みについても紹介、受講者の地域のイベント等への参加を促す。講座の受講者が駅周辺での地域イベントへの参加につながることで、地域活動への参加・参画のきっかけを作る効果をねらう。受講対象やテーマ設定を工夫する。	全4回 (10～1月)

<p>⑤新おやま市民 大学ACADEMIC「金融に関すること」 ※学生や現役世代等若者向け（全世代可）☆</p>	<p>専門性や学術性の高い学びを提供する事業のひとつ。 R4, 5/21開催の市民フォーラムで学びたいテーマの1つとして挙げられた金融教育。</p>	<p>全4回 (8~12月)</p>
<p>⑥新おやま市民 大学ACADEMIC「小山の特色に合わせた学びシリーズVol.1小山駅前の歴史」◎☆</p>	<p>専門性や学術性の高い学びを提供する事業のひとつ。 R4, 5/21開催の市民フォーラムで学びたいテーマの1つとして挙げられた「小山市の特色に合わせた学び」として。</p>	<p>全1回 (6月)</p>
<p>⑦新おやま市民 大学ACADEMIC「小山の特色に合わせた学びシリーズVol.2小山駅前のまちづくり」◎☆</p>	<p>専門性や学術性の高い学びを提供する事業のひとつ。 R4, 5/21開催の市民フォーラムで学びたいテーマの1つとして挙げられた「小山市の特色に合わせた学び」として。</p>	<p>全1回 (6月)</p>
<p>⑧新おやま市民 大学ACADEMIC「小山の特色に合わせた学びシリーズVol.3渡良瀬遊水地（田園環境都市）」◎☆</p>	<p>専門性や学術性の高い学びを提供する事業のひとつ。 R4, 5/21開催の市民フォーラムで学びたいテーマの1つとして挙げられた「小山市の特色に合わせた学び」として。</p>	<p>全1回</p>
<p>⑨新おやま市民 大学CLASSIC「高校卒業後の心配事」☆</p>	<p>R4, 5/21開催の市民フォーラムで学びたいテーマの1つとして挙げられた「これからの新生活のための学び」として。</p>	<p>全1回</p>

2. 公民館・市民交流センターへの支援充実事業 ◎☆●		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①公民館先行モデル事業☆	1. 新おやま市民大学③H00Kシリーズテーマ1と兼ねる	
②公民館講座パッケージ作成事業☆	①を踏まえた学習プログラムを作成する	令和5年度中
③公民館長・市民交流センター長会議◎	従来行われてきた公民館長会議に、市民交流センター長もお招きする	年3回程度
④社会教育指導員会議●	教育委員会の生涯学習課や各公民館に配置される会計年度任用職員（社会教育主事や社会教育士とは異なる/主に学びの教室事業や公民館各種講座、学校運営協議会等を担当、生涯学習課では指導員の統括や学びの教室統括も担当）	年5回程度
⑤公民館主事・市民交流センター職員交流会・研修会◎	従来行われてきた公民館主事研修を交流会・研修会とし、市民交流センターの職員もお招きする	年2回程度
⑥公民館運営審議会に関すること●	社会教育法第29条、小山市公民館条例第13条の規定に基づき設置される。小山市全体として相互に各公民館の連携を図りながら、公民館運営のあり方や地域における特色のある公民館事業を展開するための調査審議を行う。	年〇回程度

3. 講師・指導者情報、グループ・サークル情報のデータベース化◎		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①データベースシステム導入◎	従来紙媒体により作成されてきた講師・指導者情報とグループ・サークル情報へのアクセス性の向上と、情報の正確性を向上させるため	令和5年度中

4. 宇都宮大学サテライトプラザ事業◎		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①宇都宮大学サテライトプラザ事業◎※ロブレ6階に宇都宮大学サテライトプラザ用スペースが設置されている	「国立大学法人宇都宮大学と小山市の連携協力に関する協定書」より (連携協力事項) ・宇都宮大学の教育研究活動の紹介と高校生・受験生向けの情報提供 ・市民向け講座の開催 ・地域資源を活用した地域デザイン等に関する と	未定

5. 大学開放事業（白鷗大学市民開放講座）●		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①大学開放事業（白鷗大学市民開放講座）●	白鷗大学で行われる通常の授業を市民の皆様に開放する事業で、白鷗大学と小山市教育委員会の共催により例年前期後期の2回に分けて開講されている。生涯学習課は募集周知・受付・開講式等の事務を担当する。	年2回（前期・後期）

6. 多様な学習方法、情報発信方法の展開☆		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①講座動画配信 設備整備事業☆	R4, 5/21開催の市民フォーラムにて、直に対面や体験だけでない講座の在り方（動画配信等）が提案されたことから。 撮影・録音機器類、動画編集のためのパソコン・インターネット環境整備を行う。	令和5年度中
②動画撮影・配信 ブースの設置☆	市民も活用できる撮影・録音ブースの設置と使用方法の講座の開催 参考) 横浜市青葉区区民活動支援センター・生涯学習センター「まち活スタジオ」	令和5年度中
③情報発信の工夫☆	従来の紙媒体、ホームページでの周知に加え、SNS(Facebook、instagram、twitter、LINE等)を活用する	通年

7. まちづくり出前講座事業●		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①まちづくり出前講座事業●	市の行政に関する情報その他市民が要望する情報を提供するために、市民の要望に応じて職員等を講師として派遣して「おやま・まちづくり出前講座」を実施することにより、市民の市政に対する理解と地域社会への参画の推進を図り、もって自治意識の高揚と住みよいまちづくりの推進に寄与する。 市内行政編(市役所各課)と高等教育機関編(白鷗大学、小山工業高等専門学校、関東能力開発大学校、中央アートスクール)のメニューを用意。	通年・随時

【市民と行政とのパートナーシップの推進事業類】

8. おやまのマイスターとまちに出よう！（地域の専門家との連携）事業☆		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①おやまのマイスターとまちに出よう！（地域の専門家との連携）事業☆	1. 新おやま市民大学④H00Kシリーズテーマ2と兼ねる	

9. 運営委員会・調査検証委員会の設置☆		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①運営委員会の設置☆	小山市立生涯学習センター条例において、指定管理者導入時の条例改正にて削除された運営委員会の条文を復活させ、市民や有識者を交えた運営委員会を開催する。 生涯学習センターのあり方や適正な運営、事業を企画実施するための調査審議を行う。	年3回
②調査検証委員会（仮称）の設置☆	生涯学習センターにより身近な市民（利用者、生涯学習関係団体のほか、まちづくり実践者や学生、現役世代等若者が入るよう多様性に配慮）により、上記運営委員会に対し、提案・提言を行うことができる調査検証委員会（仮称）を設置し、検討会の開催のほか、生涯学習センター職員とともに、市民フォーラムやアンケート等の企画も行う。	年3回

10. 生涯学習センターの施設・事業運営を市民とともに担う（協働の）仕組みづくりの研究事業☆		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①生涯学習センターの施設・事業運営を市民とともに担う（協働の）仕組みづくりの研究事業☆	運営形態にかかわらず、市民とともに生涯学習センターを担っていく方法を模索するために研究会・市民フォーラム等を開催する	未定

11. 市民自主企画講座開催支援事業☆		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①地域の学びの種集め方講座☆	市民が自ら講座を開催するために必要となる、講座のテーマ＝地域課題（学びの種）をどうやって探していくのかのヒントを提供する。課題の探し方、探し方（調査）のイロハ、参加者の集め方などの様々なテーマについて、講座のほか各種媒体などを用いて、市民の皆様にヒントを提供する。	全2回
②市民自主企画講座の公募・選定・開催支援☆	様々な活動で培った知識や学習成果の発表を行うため、また地域課題に取り組むために学びたい市民の意欲に応えるため、講座の開催方法、企画方法、周知方法などの支援、講座開催場所の提供を行い、地域の学びを活性化する人材の活躍を後押しする。個人の学びだけに留めない、共に学び合い交流する学習環境の充実を図る。	全1回～継続

【学びを活かす取組の推進事業類】

12. 市民自主企画講座開催支援事業☆		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①地域の学びの種集め方講座☆	11. 市民自主企画講座開催支援事業①と兼ねる	
②市民自主企画講座の公募・選定・開催支援☆	11. 市民自主企画講座開催支援事業②と兼ねる	

13. 生涯学習センターまつり事業☆		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①生涯学習センターまつり事業☆	生涯学習センターを核とした、利用者らの学びや活動の成果を発表する場、交流の場として開催する	年1回

【人と人、人とまちをつなぐコーディネート機能の充実事業類】

14. 社会教育主事・社会教育士・その他コーディネータの養成・配置◎		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
① 社会教育主事・社会教育士の配置◎	小山市生涯学習センターに、学びの活動をコーディネートできる人材である、社会教育主事、社会教育士等の資格を有する職員を配置する	
② 社会教育主事講習への派遣◎	職員の社会教育主事講習への派遣（人材育成）を実施し、小山市長部局・小山市教育委員会事務局での有資格者を増やす	

15. 学習相談体制の設置◎		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
① 学習相談体制の設置◎	学習者の学習上の悩みや問題の解決を図る助言・援助活動。学習技法やグループ・サークルの運営方法を紹介する。	通年

16. グループ・サークル交流フォーラムの開催☆		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
① グループ・サークル交流フォーラムの開催☆	市内で活躍する生涯学習関係のグループ・サークルの日頃の活動、運営方法、ノウハウを共有し、自らの団体の活動の参考にするとともに、団体間の交流によって生まれる連携協力の発生をねらう。	全1回

【生涯学習センターホール活用事業】

17. コンサート・演劇等事業◆		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①コンサート・演劇等事業◆	生涯学習センターホールを活用したコンサート・演劇等の文化芸術事業を実施する。	年3回

【生涯学習課既存事業】

18. 各種審議会に関すること●		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①生涯学習推進協議会に関すること●	生涯学習に関する施策について、広く市民の意見を求めるとともに、生涯学習の普及奨励を図るため設置される会議。 生涯学習の推進に関することや、生涯学習の基本的施策及び基本問題に関することを審議する。	年2回程度
②社会教育委員会に関すること●	社会教育法(昭和24年法律第207号)第15条の規定に基づき設置される会議。 社会教育に関する諸計画を立案したり、そのために必要な研究調査を行ったりすることができる。 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べるすることができる。	年2回程度

19. 家庭教育支援事業 ●		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①家庭教育オピニオンリーダーの指導・助言に関すること●	栃木県の家庭教育の指導者として研修を受けた市民らにより、公民館などで子どものしつけや発育、家族のあり方などの家庭に関する相談・学習会を開いている。小山市においては「ポケットの会」が保健福祉部の委託を受けて市内数か所で子育てサロンを運営しており、生涯学習課にて研修の案内や活動の支援を行っている。	通年

②家庭教育支援 （親学習プログラム）に関すること●	小山市家庭教育支援チーム「かざぐるま」とともに、主に就学時健診時や出前講座での依頼により、栃木県が開発した保護者向け参加型学習プログラム「親学習プログラム」を実施している。	通年 ※繁忙期は秋
------------------------------	--	--------------

20. 学びの教室事業 ●		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①学びの教室事業●	各公民館にて開催される学習支援事業。月2回と夏休み期間の開催がされ、社会教育指導員及び学習支援ボランティアにより学習支援（指導）が行われる。 学びの教室実施の計画作成、社会教育指導員の分担計画、ボランティアの募集とシフト組み等の事務を行う。	計22回・通年

21. 地域学校協働活動に関すること●		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①地域学校協働活動に関すること●	地域学校協働活動（地域と学校とが相互にパートナーとして、連携・協働して行う様々な活動（社会教育法第5条第2項ほか）の振興に向けた研究	通年

22. 市民ギャラリー（まちかど美術館）に関すること●		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①市民ギャラリー（まちかど美術館）に関すること●	市民ギャラリー（まちかど美術館）に関する事務	通年

23. 視聴覚ライブラリー協議会に関すること		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①視聴覚ライブラリー協議会に関すること	学校教育や社会教育における視聴覚教育の支援を行う機関 下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会での資料選定、専門委員会への出席、同委員会会員との連絡調整・資料配布	通年

24. P T A連合会の指導・助言に関すること●		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
① P T A 連合会の指導・助言に関すること●	小山市 P T A 連合会事務局	通年

25. 中央公民館の指定管理に関すること		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①中央公民館の指定管理に関すること●	中央公民館の指定管理の契約、管理を行う	通年

26. 女性教育に関すること		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①女性教育推進連絡協議会の指導・助言に関すること●	女性教育推進連絡協議会小山支部（輝楽の会）の事務局。県主催研修などの案内。自主研修の支援。	通年

27. 二十歳を祝う会（旧 成人式）に関する事		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①二十歳を祝う会の統括に関する事●	市内各中学校で開催する各担当（公民館）への説明、職員分担・配置、庁内とりまとめ。	例年1月の成人式の前日
②二十歳を祝う会（小山第三中学校会場）に関する事●	小山第三中学校会場の二十歳を祝う会の実施	例年1月の成人式の前日
③二十歳を祝う会（小山城南中学校会場）に関する事●	小山城南中学校会場の二十歳を祝う会の実施。	例年1月の成人式の前日

28. 小山地区南北子ども会育成会に関する事		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①小山地区北部子ども会育成会に関する事●	小山地区北部子ども会育成会の事務局。 中央公民館が指定管理者による運営となった際に生涯学習課生涯学習係に業務移管。 ※なお小山市子ども会育成会連合会及び事務局の支援は同課青少年係で行っている。	通年
②小山地区南部子ども会育成会に関する事●	小山地区南部子ども会育成会の事務局。 中央公民館が指定管理者による運営となった際に生涯学習課生涯学習係に業務移管。 ※なお小山市子ども会育成会連合会及び事務局の支援は同課青少年係で行っている。	通年

29. 将棋大会に関すること●		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①将棋大会に関すること●	長谷部プロ・小山市長杯争奪将棋大会の事務局 夏休み子ども将棋講習会及び長谷部プロ・小山市 長杯争奪将棋大会の開催	年1回

30. 所属の庶務に関すること●		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①所属の庶務に関すること●	市役所庁内の通知收受、各種報告とりまとめ等の 庶務一般	通年

【施設管理事業】

31. 貸館事業◆		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①貸館事業◆	ホール、セミナー室、ギャラリー、おやま開運未 来塾等諸室の貸出、受付、仕様前後の簡易清掃	通年

32. 清掃事業◆		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①日常清掃◆	業務委託	通年
②定期清掃◆	業務委託	通年

33. 保守点検事業◆		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①保守点検事業◆	業務委託(ホール保守点検、ピアノ保守・調律…)	通年

人工計算表
正職員・任期付職員

No.	事業群	事業名	回数	必要人工	備考
1	新おやま市民大学	CLASSICシリーズ「ヨガ・ストレッチ」	8	1.0	
		HOOKシリーズ①「小山市民になった方へ」	1		
		HOOKシリーズ②「防災」	4		
		HOOKシリーズ③「おやまのマイスターとまちに出よう！」	4		
		ACADEMICシリーズ①「金融教育」	4		
		ACADEMICシリーズ②「小山の特色に合わせた学びシリーズVol.1小山駅前の歴史」	1		
		ACADEMICシリーズ③「小山の特色に合わせた学びシリーズVol.2小山駅前のまちづくり」	1		
		ACADEMICシリーズ④「小山の特色に合わせた学びシリーズVol.3渡良瀬遊水地（田園環境都市）」	1		
		CLASSICシリーズ「これからの新生活のための学び」	1		
2	公民館・市民交流センターへの支援充実事業	公民館先行モデル事業	1	0.5	
		公民館講座パッケージ作成事業	通年		
		公民館長・市民交流センター長会議	3		
		公民館主事・市民交流センター職員交流会・研修会	2		
		公民館運営審議会	2		
3	講師・指導者情報、グループ・サークル情報のデータベース化	同左	通年		
6	多様な学習方法、情報発信方法の展開	講座動画配信設備整備事業	通年	0.3	
		動画撮影・配信ブースの設置	通年		
		情報発信の工夫	通年		
4	宇都宮大学サテライトプラザ事業	同左	未定		
9	運営委員会・調査検証委員会の設置	運営委員会の設置	3	1.7	
		調査検証委員会（仮称）の設置	3		
10	生涯学習センターの施設・事業運営を市民とともに担う（協働の）仕組みづくりの研究事業	同左	通年		
11,12	市民自主企画講座開催支援事業	地域の学びの種集め方講座	2	0.5	
		市民自主企画講座の公募・選定・開催支援	1		
16	グループ・サークル交流フォーラムの開催	同左	1	0.7	
17	コンサート・演劇等事業	同左	3	0.3	
19	家庭教育支援事業	家庭教育オピニオンリーダーの指導・助言に関する事	通年	0.5	
		親学習プログラムに関する事	通年		
18	生涯学習係業務類	生涯学習推進協議会に関する事		0.2	
18		社会教育委員会に関する事		0.2	
2		社会教育指導員に関する事		0.2	
20		学びの教室事業に関する事		0.3	
21		地域学校協働活動に関する事		0.1	
22		市民ギャラリー（まちかど美術館）に関する事		0.3	
23		視聴覚ライブラリー協議会に関する事		0.1	
5		大学開放事業（白鷗大学市民開放講座）に関する事		0.2	
7		まちづくり出前講座に関する事		0.1	
24		P T A連合会の指導助言に関する事（小山市P T A連合会事務局）		0.3	
25		中央公民館の指定管理に関する事		0.3	
26		女性教育に関する事		0.1	
27		二十歳を祝う会（旧成人式）に関する事（全体総括）		0.3	
27		各会場の二十歳を祝う会に関する事（三中、城南中）		0.2	
28		小山地区南北子ども会育成会に関する事（旧中央公民館所管、指定管理者導入時に生涯学習係に移管）		0.2	
29		将棋大会に関する事		0.2	
30		所属の庶務に関する事		0.2	
				9.0	
会計年度任用職員					
31	貸館事業	生涯学習センターの諸室の貸出、受付、使用前後の簡易清掃等	通年	3.0	会計年度任用職員
				3.0	
業務委託					
32	清掃事業	日常清掃	通年		業務委託
		定期清掃	通年		
33	保守点検	保守点検事業	通年		